

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2024-25年度 RI 会長 / ステファニー・アーチック
RI.D2590 ガバナー / 長戸はるみ
横浜旭RC 会長 / 北澤 正浩

ガールスカウト
とクリーン作戦



第11回 チャリティコンサート

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33 / 〒241-0836
TEL.080-1215-6668 / FAX.045-362-0024
<http://yokohamaasahirc.org>
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 二俣川駅ジョイナステラス3 / 4F コミュニティサロン
例会日 月3回水曜日 / 12時30分 ~ 1時30分

2025年6月11日 第2582回例会 VOL.56 No.35

- 司会 SAA 関口 大樹
- 開会点鐘 会長 北澤 正浩
- 出席報告

会員数	21名	本日の出席数	14名
本日の出席率	70.00%	修正出席率	75.00%

■本日の欠席者

日向、中谷、宋、二宮、佐藤(真)、田川

■オンライン出席者 草柳、福村

■他クラブ出席者 新川(地区)

■皆出席祝い

市川会員 13名

■会長 EL 五十嵐 正

2024-25年度ロータリー会長

ステファニー A. アーチック

会長エレクトに関する最新状況のご連絡

この度、マリオ・デ・カマルゴ会長エレクトより、2025-26年度ロータリー会長としての職を辞するという通知を受理したことをお知らせ申し上げます。昨日の遅い時間に届いた書簡には、個人的・ビジネス面の懸念により辞任が必要であること、またロータリーに奉仕できたことに感謝していることがつづられていました。

カマルゴ氏の45年にわたるリーダーシップとロータリーへの奉仕、および会長への指名によってブラジルのロータリー会員に大きな誇り

をもたらしてくださったことに、私たちは感謝しています。カマルゴ氏が今後も自身の経験を活かし、ブラジルと世界でロータリーの成長に貢献し続けてくださると確信しております。

国際ロータリー理事会がまもなく会合を開き、新しい次期ロータリー会長を選出するためのプロセスを決定します。

■ニコニコBOX

北澤 正浩 / 本日は最後の通常例会です。よろしくお願いたします。

市川 慎二 / 本日は一年の振り返りをお話します。

岡田 隆 / 北澤会長、市川幹事、一年間の運営お疲れ様でした。ありがとうございました。

安藤 公一 / 北澤会長、市川幹事、一年間お疲れ様でした。

新川 尚 / 北澤会長、市川幹事、一年間お疲れ様でした。

中島 徹 / 北澤会長、市川幹事、一年間お疲れ様でした。本日の卓話よろしくお願いたします。

関口 大樹 / 北澤さん、市川さん、本日の卓話よろしくお願いたします。

五十嵐 正 / 北澤さん、市川さん、一年間ご苦労様でした。本日の卓話楽しみにしております。

■この1年を振り返って 幹事 市川慎二

今年度で、3回目の幹事を仰せつかり、北澤会長をはじめ、多くの諸先輩方に助けていただきながら、無事に1年間の運営を行うことができました。

この1年を振り返りまして、大きなことといたしまして、今まで主に単年度で計画し活動していたものが、中長期的に計画し実践していく3カ年プロジェクトが、北澤会長のもと発足されたことだと思います。

当クラブでは、五十嵐会員を中心に、防災を意識したプロジェクトチームを結成し、3年間の目標達成に向け動き出し、水谷先生の講演会も大成功を収めるなど、この1年間はクラブにとって大きな一歩になったと実感しました。この3カ年プロジェクトの成功は、クラブ内の活性化はもちろんのこと、幅広いクラブの広報や会員増強にも繋がっていくプロジェクトです。

次年度の2年目では行政、地元地域を巻き込んだ、新たな提案や、組織作りに進んでいくこととなりますが、次年度の五十嵐会長、関口幹事であれば成功に繋がることと確信しております。

もう一つ、新会員として中島さんのご入会は大いに嬉しいことの一つです。

例会や活動への向き合い方、自ら学ぶ姿勢は、人としてもロータリアンとしてもとても尊敬しております。今後のクラブの大きな戦力としてご活躍を期待しています。

北澤会長の幹事として、何も機能することができませんでしたが、皆様のご理解とご協力により無事に一年を終えることができ、心より感謝いたします。ありがとうございました。

■「この一年を振り返って」

皆さま、本日はこのようにお時間を頂戴し、誠にありがとうございます。

令和6年7月に、再びロータリークラブの会長職をお預かりすることとなって以来、瞬く間に時が流れ、本日このように今期最後の通常例

会、そして私にとって2度目の会長職の締めくくりを迎えることとなりました。就任からの月日は、思いのほか早く過ぎていき、今この節目に立ち、改めて様々な感情が胸に込み上げてまいります。

今回が2度目の会長就任でございましたが、前回はまさにコロナ禍の只中であり、思うようなクラブ運営ができなかったという深い悔いを残しての任期終了でした。あの無念さが私の心の奥底に強く残っていたからこそ、「今度こそは」との想いを胸に秘めて、今回の任に臨んだのが正直なところでございます。

しかしながら、再任が決まった時点から、心のどこかに常に重くのしかかっていたものがありました。それは、前回の任期中に4名もの退会者を出してしまったという事実に対する、痛烈な反省と自責の念です。あの出来事が、会長としての自分の在り方を深く見つめ直すきっかけとなりました。そして今期を迎えるにあたり、再び同じ轍を踏まぬよう、何としても例会を魅力あるものとし、皆さまが「また参加したい」と思えるような空間をつくることを、自らの使命と考えておりました。

とはいえ、現実はどういうにはいかず、特に会場や食事に関する不満については、決定的な解決策を見いだせぬまま、皆さまにご不便とご忍耐をお願いする形となってしまいました。この点においては、私の準備・配慮不足であり、改めて深くお詫び申し上げます。例会に楽しさや価値を見いだせなければ、やがて足が遠のき、退会という選択につながることは火を見るより明らかであります。私の中にも、「楽しくするぞ」との熱意は確かにありましたが、それを具体的な行動へと落とし込むところまで至らなかったという点において、力及ばずであったことを、痛切に感じております。

そのような中で、特筆すべき成果がないままに終わるのではと危惧しておりましたが、幸いなことに、皆さまの温かいご理解とご支援のもと、今期中に退会者を出すことなく、さらには

中島さんという素晴らしい新たな仲間を迎え入れることができ、結果として会員数が純増1名という形で締めくくれることは、私にとって大きな救いであり、心より嬉しく思っております。

振り返ってみると、今期の活動の中で特に記憶に残るものとして、水谷先生をお招きして開催した講演会「防災先進国イタリアに学ぶ防災のTKB」が挙げられます。これは、当クラブが3ヵ年計画として掲げている「避難所の環境改善」をテーマとした取り組みの第一歩でもありました。水谷先生には、長年にわたる研究と現地での知見を交えて、極めて有益なお話をいただき、参加された方々からも「大変勉強になった」「これからの地域防災に活かしたい」といった高評価を多数頂戴いたしました。

この講演会の実現にあたっては、当クラブ内のみならず、他クラブの皆さまからも多大なるご協力を賜り、まさにロータリーのネットワークと結束力の賜物であったと感じております。そしてその後、横浜市においてTKBユニットの導入が決定されるなど、まさに時代のニーズとシンクロするかたちで、本計画は今後さらに発展していく可能性を秘めております。これから迎える2年目、3年目においても、この歩みを止めることなく、さらに大きな成果を目指してまいりたいと願っております。

全体として振り返れば、今期の活動は、会員の皆さまのお力添えにより、例年通りの事業を滞りなく実施することができました。ただ、私自身の気持ちとしては、「例年以上の成果を上げたい」と強く思っていたことも事実であり、それが果たせなかったことは、痛恨の極みであります。率直に申し上げて、その原因の多くは私自身の指導力、リーダーシップの未熟さに起因するものであり、改めて皆さまにお詫び申し上げます。

そして、どうしても申し上げておきたいのは、このクラブのこれからについて、であります。

今年度は中島さんのご入会により、会員数を増加させることができましたが、今後さらにク

ラブを活性化させ、組織としての健全な運営体制を築いていくためには、やはり会員の数が重要になってまいります。私たちは、少人数であるがゆえに、「人手が足りないから」「この人数では難しいから」と、知らず知らずのうちに自ら活動の範囲に制限を課してしまっているのではないかと感じることがあります。これは、持続的発展の視点から見ても憂慮すべき事態です。

ゆえに、クラブの将来を見据えればこそ、会員拡大の努力を継続することが必要不可欠であり、同時に、現状の人員体制の中でもできること、挑戦すべきことに勇気をもって踏み出す姿勢が求められていると、私は強く感じております。

このクラブには、誇るべき会員の方々がいっぱいいます。たとえば、足の不自由な中でも、毎回欠かすことなく例会に出席し、その姿勢を崩さない方もおられます。おそらくその方にとって、ロータリーとは単なる義務や習慣ではなく、魂をもって関わるべき、大切な生き方の一部であるのだと思います。そうした方の姿勢に触れるたびに、「このクラブをもっと充実させなければならない」「この方と共にあることを誇りに思う」と、心の奥底から思うのです。

だからこそ、これからの時代に向けて、私たちはより一層の団結をもって、クラブのさらなる繁栄を目指してまいりましょう。

ロータリークラブという場において、2度も会長職をお預かりするという大変貴重な機会をいただきましたこと、そして拙い運営にもかかわらず、温かく支えてくださったすべての会員の皆さまに対し、あらためて深甚なる感謝の意を表したく存じます。

特に、幹事の市川さんには、この1年間、縁の下の方力持ちとして誠心誠意お支えいただきました。彼の冷静な判断と綿密な事務処理なくして、クラブの運営は成り立たなかったことを、あらためて申し添えたいと思います。心より感謝申し上げます。

そして、次年度会長の五十嵐さん、幹事の関口さんに、このバトンをお渡ししたいと思いま

す。お二人ならば、きっとより良いクラブ運営を実現されると確信しております。どうぞよろしくお願いいたします。

この一年間、本当にありがとうございました。

……そして最後に申し上げますが、「3回目」は、どうかご容赦いただけますと幸いです（笑）。

■次回例会

7/2 新年度 第1回例会

2024~2025 年度 横浜旭ロータリークラブ

第十八回 理事会報告書

日時	令和7年6月4日（水） 13時30分より	出席者	北澤正浩 市川慎二 安藤公一 五十嵐正 岡田隆 佐藤真吾 田川富男 関口大樹 新川尚
場所	例会場	欠席者	市川慎二

【報告事項】

地区関係

クラブ関係

- 1 6月18日（水） 夜間移動例会及び会長幹事慰労会
18時30分～大龍飯店 1人 5,000円（会員負担 4,000円）飲み放題

【審議事項】

1 例会場についての検討

夜間サンハート会議室の予定を、通常時間で「みなまき会議室」で開催とした。
今回は試験的に実施した結果、どうだったかの意見を聞く。

今後の会場選択については、次年度理事が会員から得たアンケートを参考に決める。

2 最終例会場所について

今年度は、日程や予算節約も兼ねて会長幹事慰労会を別日に設定せずに、6月18日
夜間移動例会時に、会長幹事慰労会を同時に行うことに前回の理事会で決定した。

その後、場所については親睦委員長より市川が依頼を受け、大龍飯店に決定した。

日時 6月18日（水）18時30分～20時30分

場所 大龍飯店2階 二俣川1丁目64 試験場通りセブンイレブンの近く

予算 1人 5,000円（飲み放題付き）

会費5,000円（1名）の内、1,000円を親睦委員会の予算から負担し、4,000円を
会員負担とする。

3 災害支援基金に関するクラブ細則の改正案について

災害対策委員会より、災害支援基金に関するクラブ細則の改正案が提出された。
内容を改正するものではなく、会員の意見をもとに従い、地元旭区内への拠出金支出
と、他のロータリークラブへの拠出金の支出とを明確に峻別できるように改正を提案
したい。理事会の承認が得られれば総会にて諮り、可決されれば細則変更をおこなう。

6月11日の例会時に総会を行う。

災害支援基金について

細則第3条(3) 理事会の承認を得て年間予算より18万円を基金に充当する。

承認された。

細則第6条 今年度の実施状況と会計報告を6月30日締めを作成し、理事会の承認
を得て会員に報告。

今年度、実施はされていない旨を例会にて会員に報告する。

4 周年事業への積立について

周年事業への積立として、今年度予算から50万円を充当する。